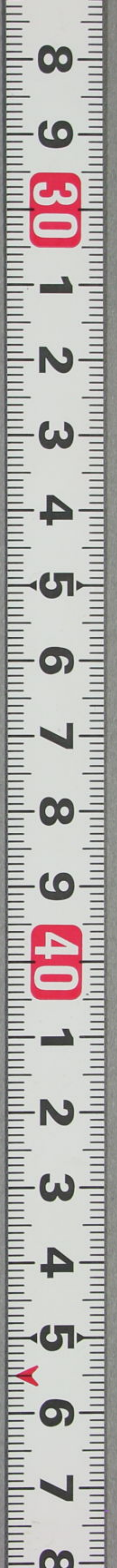


山東庵京山譯
 稗ま史こ水ご許ご傳ん
 歌川國芳画
 上卷 初編



^ 13
 3812
 1

Gōkan: (No. 018)
 Ezōshi Suiko Den.
 Part. 1 Book 1---6



門へ13
3812
1

山東庵京山譯 文政丑春
稗史水滸傳初編
歌川國芳画 上卷

文政壬子の春京傳新繪本水滸傳以再
譯して大いせし行る故今日編成補以画作筆
織異より新編多し王殿諸異一覽成
下しと再評改題ハ幸甚之 正栄堂 欽白

幻曲外又題水滸傳云云是長存夕
蘇水之演一卷讀之不觉欲竟全部
後全部一既再讀不須去手 本朝森

說部者於其書亦之於故譯之盡之欲
為新書若梓之冊書坊來乞之編一
辭再乞不入辭則作六編若全傳之班
全豹尚猶有後快云尔

文政子之星夕 京山人識





高休
尉為大

封帛間
高休
從得青
日升大尉
大官

了



人樂太平
哀
月
誓
志
限日高朕

封帛間

漢土奴女

一季抄得
眼瞎
縫裂烏
珠迸出也
不牙了
筒絲帛



歌妓
金翠蓮

西關鎮

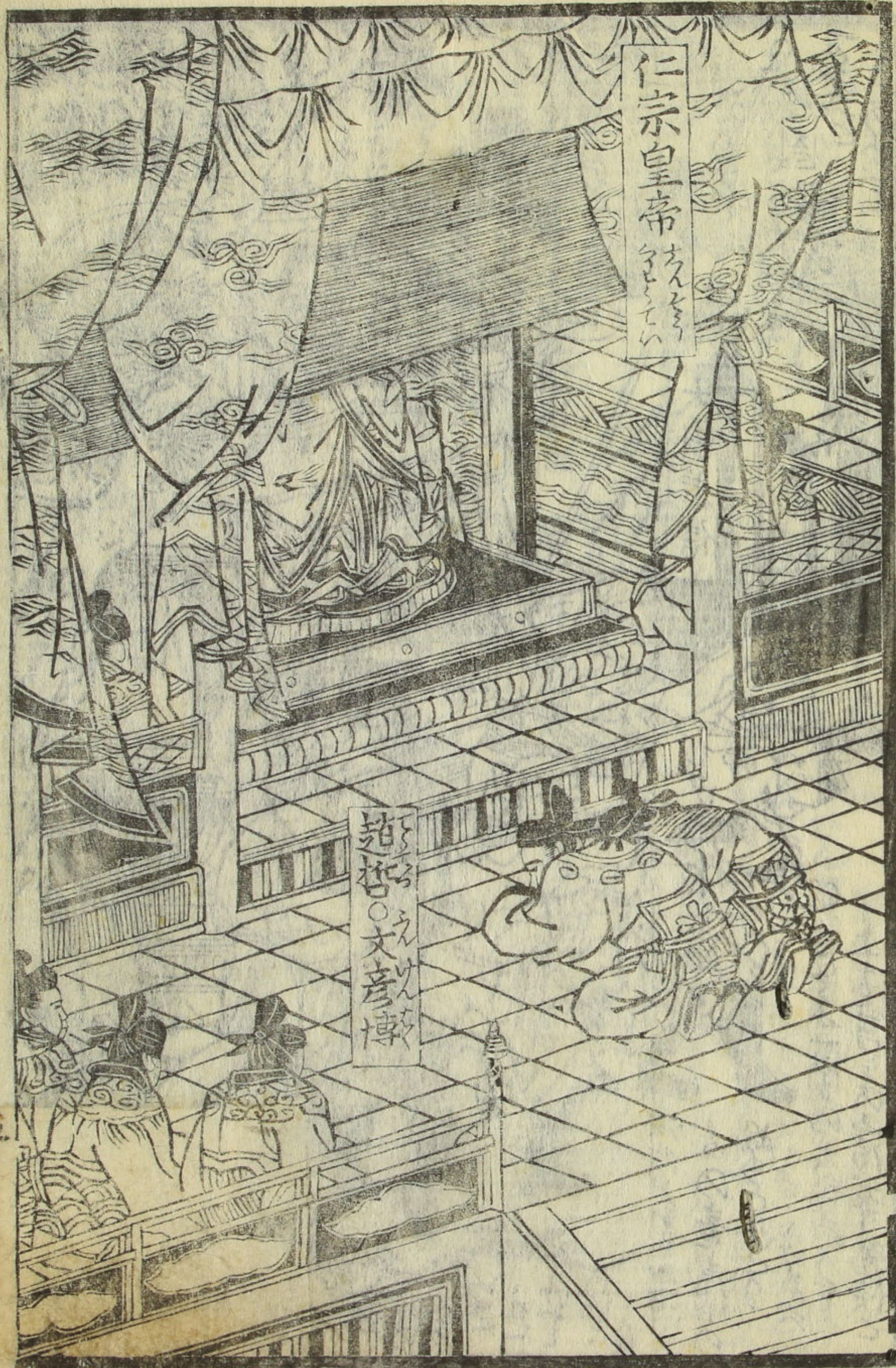
舖紅的
黑的縫
的都
滾將
出來



三洞
仙原

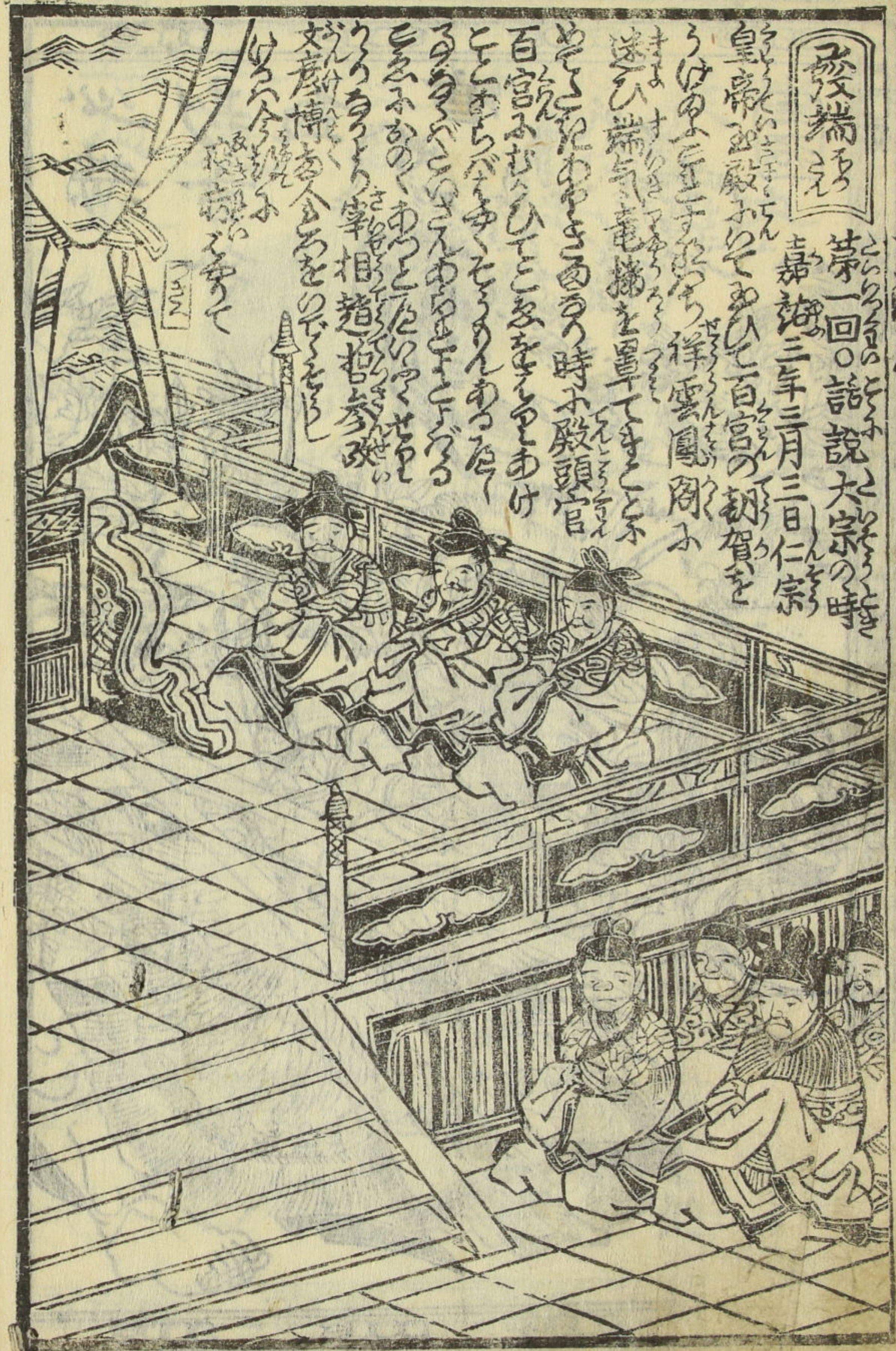
魯提轄
後為僧
魯智深





仁宗皇帝

范哲の文彦博

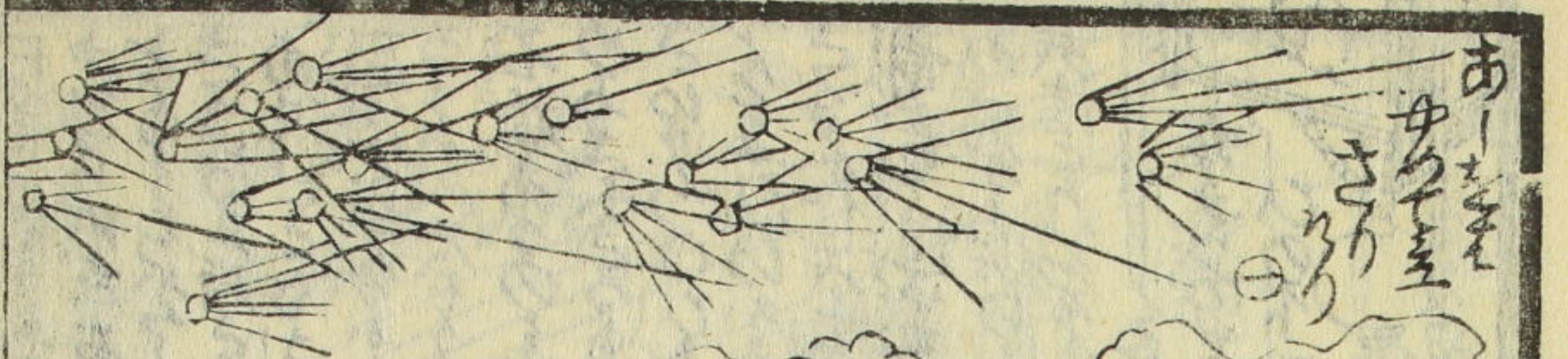


發端

第一回 詔説太宗の時
嘉祐三年三月三日 仁宗

皇帝御殿ありてあひて百官の朝賀を
うけぬよきすべからず 祥雲鳳閣ふ
まよすけりてあはれ
遂に端々電掃を置てすこと
めりてあひわきもあはれの時 殿頭官
百官ふむひてこまをさしあけ
ことあらばあはれをさしあけ
るるるるるるるるるるるるるる
こまをさしあけ
りるるるるるるるるるるるるる
らんらんらんらんらんらんらん
文彦博あはれをさしあけ
けりるるるるるるるるるるるる

あーとまを
中つま
さり
あつた
日のとま
うらひま
ふりま
だりま



あーとまを
中つま
さり
あつた
日のとま
うらひま
ふりま
だりま

松壽堂藏販略目錄

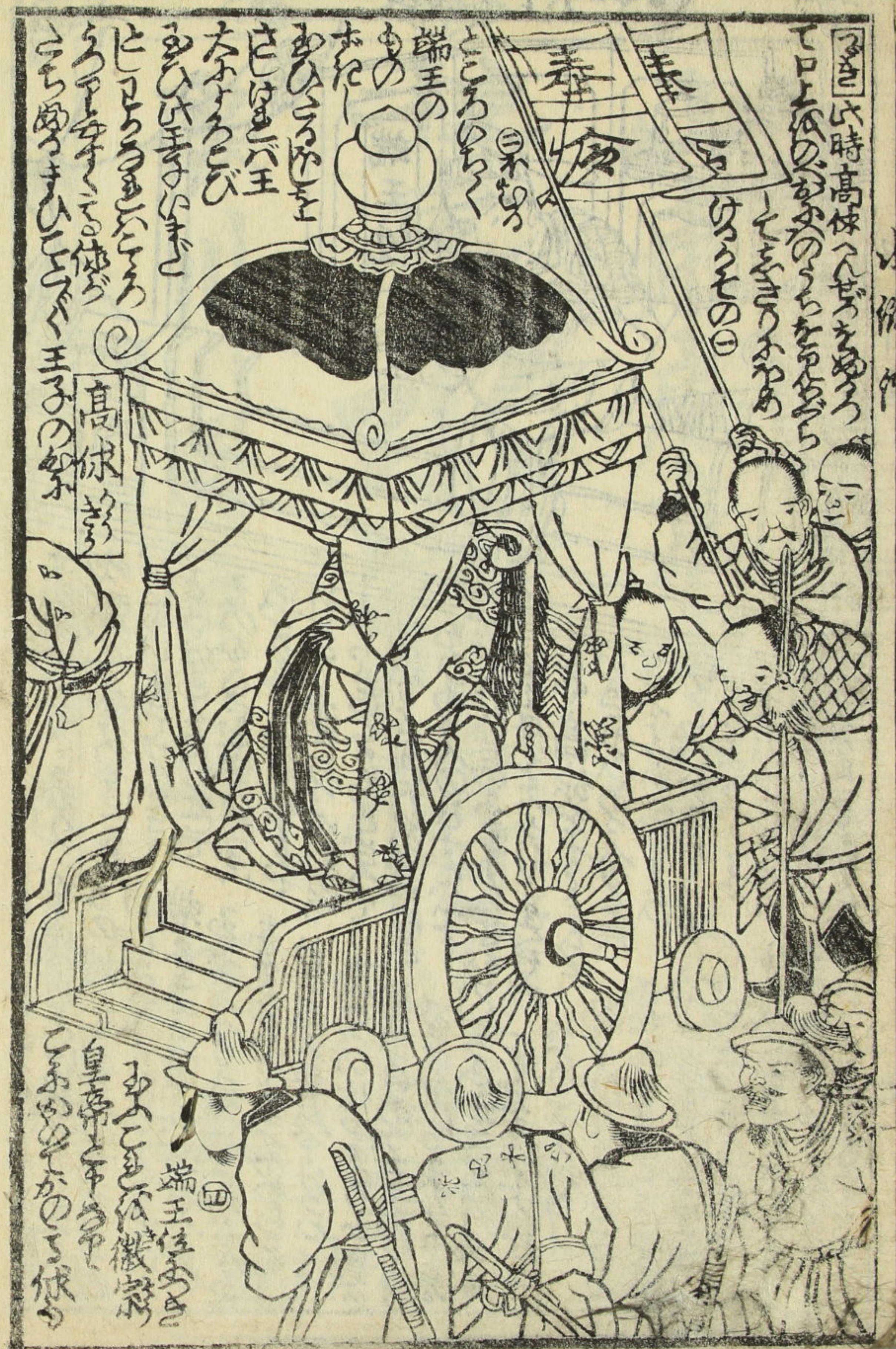
清懷中折本多中内目錄
 清家改撰消息往来
 妙筆の
 高依との方ものあてはての筆た
 ものせまらるるものこと
 高依との方ものあてはての筆た
 ものせまらるるものこと
 高依との方ものあてはての筆た
 ものせまらるるものこと

奥州松島八景之圖 唐紙一枚摺
 前北政所為一非小筆
 大本三景はあまの若男とまののり無風雨のくわはに
 老人を以てしきまののり無風雨のくわはに
 加目位算早割塵劫記 全一冊
 高依との方ものあてはての筆た
 ものせまらるるものこと
 高依との方ものあてはての筆た
 ものせまらるるものこと



高依との方ものあてはての筆た
 ものせまらるるものこと
 高依との方ものあてはての筆た
 ものせまらるるものこと
 高依との方ものあてはての筆た
 ものせまらるるものこと
 高依との方ものあてはての筆た
 ものせまらるるものこと

松壽年代記 両面摺
 裏の將軍の歴代と初め法氏重宝とかなとかなの死を



高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)

高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)

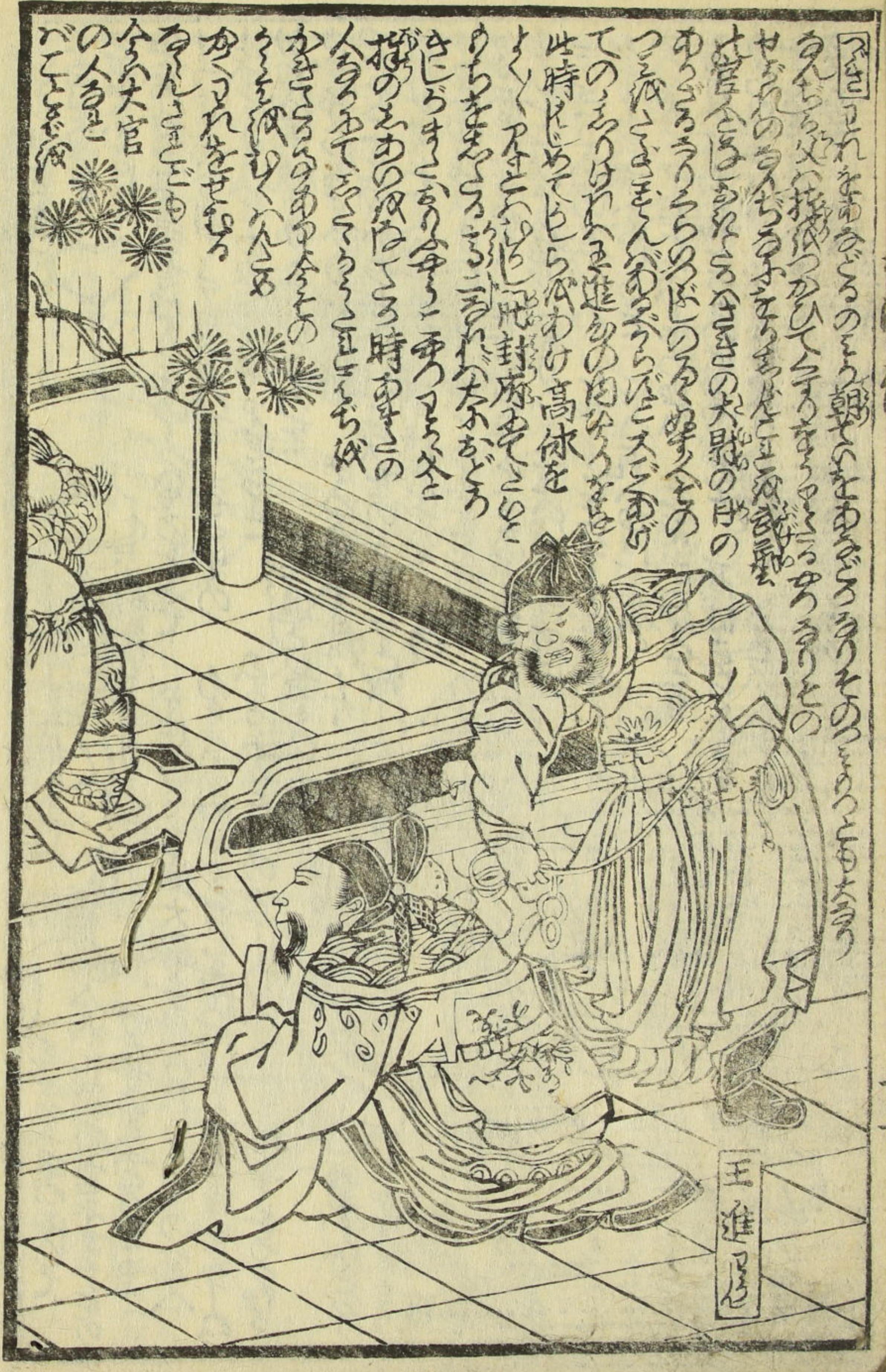


高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)

高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)
 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai) 高体 (Takaitai)

水鏡

十一





百世のせがれ
 せがれをして史進とす
 こそまじりつひの
 ままぞうらふ
 とこも
 ものとも
 さうして
 せがれ
 の
 史進

史進
 の家
 の
 女



史進の家
 の
 女

史進

